

地域だより

市民憲章推進への実践活動から

登別市連合町内会事務局

市民サービスグループ内

☎2139、FAX1108



就任にあたって

登別市民憲章推進協議会

会長 前田 文彦

この度、本年度第40回定期総会において、会長職の指名を受けお引き受けすることとなりました。

微力ではありますが、これまでの役員経験を生かし、また理事各位のご協力を仰ぎ重責を担う所存でございます。

これからの市民憲章推進協議会の活動に対し、市民の皆さまのご支援とご協力を心からお願い申し上げます。

昨年度は、市民憲章推進協議会が創立40周年という記念すべき年を迎えました。

また、数年前から当会の運営については、地域の諸情勢に対応した見直しが必要となり、組織を含めこれまで取り組んで来た『花いっぱい運動』、『市民のつどい』、『市民憲章だよりの発行』など、啓発運動の縮小について検討を進めてきましたが、それらがすべて終了し、新たな方向性が確認されました。

申し上げるまでもなく、市民憲章の前文では、住みよい地域社会の創造を目指し、その実現のため、『活気あふれるまち』『明るく住み良いまち』『きれいなまち』『夢の育つまち』『平和で文化的なまち』の5項目が基本的な心構えとして定められています。

私たちはこれらの理念を、心構えとして知ってはいても、実践化となると厳しい現実がうかがわれます。

街の随所では花が咲き、市民憲章制定当時の街並みとは比較にならないほど環境は美化されました。しかし反面、ポイ捨ては後を絶たず、春先の雪解け時には歩道上に犬のふんが目につきます。

市民憲章推進協議会では、これらの現実をとらえ、憲章推進の重要性を再認識するとともに、各種集会時の市民憲章唱和運動をはじめ、憲章に対する市民の意識の高揚を目指し、各種啓発活動を進めています。

市民の皆さまには、これら市民憲章推進協議会の運営をご理解いただき、活動には積極的なご参加とご支援をお願いし、会長就任のご挨拶といたします。

マチの玄関に彩りを！

～心を和ます幌別駅西口広場花壇～



幌別駅の近隣町内会や、建設協会などから約80人が参加し、市内のフラワーマスターが種から育てた黄色やオレンジのマリーゴールドや赤色のサルビア、ペコニアなどの花の苗約3,000株を駅前花壇に植えました。

少しでも長くきれいな花壇が見られるように、秋まで各町内会が維持管理の当番を決めて、毎週火曜日と金曜日に水やりや草取り・周辺の清掃などの世話をすることになりました。

見事に咲き誇る花が駅を利用する人や、ドライバーの心を、和ませてくれています。

緑と太陽のあるきれいなマチを

～募金活動にご協力ください～



地球温暖化の防止、水と空気の浄化、心身のリフレッシュなど、森林は多くの恵みを人に与えてくれます。

その森林を守るため、登別市民憲章推進協議会は、毎年5月に町内会婦人部や老人クラブ、ボーイスカウトなどの協力のもと、緑の募金活動を行っています。

集まった募金は、森を元気にする整備や緑を増やす森づくりの啓発運動などに掛かる費用に充てられます。

市民憲章の序文にある『緑と太陽のあるきれいなまち』を目指すため、今後は、町内会や各種団体にも、募金活動を呼び掛けることにしています。